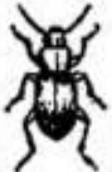


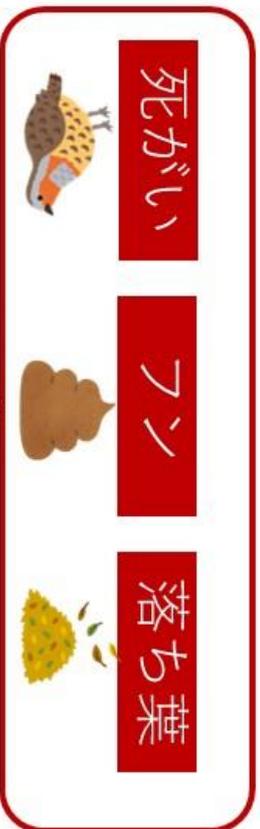
土壤生物調査のための簡易検索図

A グループ	1 ザトウムシ	2 オオムカデ	3 陸貝	4 ヤスデ	5 ジムカデ
					
B グループ	6 アリツカムシ	7 コムカデ	8 ヨコエビ	9 イシノミ	10 ヒメフナムシ
					
C グループ	11 カニムシ	12 ミミズ	13 ナガコムシ	14 アザミウマ はね有り	はね無し
					
	15 イシムカデ	16 シロアリ	17 ハサミムシ	18 ガ幼虫	19 ワラジムシ
					
20 ゴミムシ	21 ソウムシ	22 甲虫 (幼虫)	23 カメムシ	24 甲虫	
					
25 トビムシ	26 ダニ	27 クモ	28 ダンゴムシ	29 ハエ・アブ (幼虫)	
					
30 ヒメミミズ	31 アリ	32 ハネカクシ			
					

出典：「明日をつくる子どもたちの環境学習」(H25 栃木県、栃木県教育委員会)

生き物のいのちを支える、分解者（ぶんかいしゃ）の働き

■土の中の生き物が、栄養塩類を自然にかえすしくみ⇒分解（ぶんかい）



土の中の分解者
(今日観察する生き物たち)

ダンゴムシ、ミミズなど



生き物の死がいやフン、落ち葉を食べて、
フンにして細かくする (分解)

僕たち栄養塩類が
たくさんはいつて
いる！



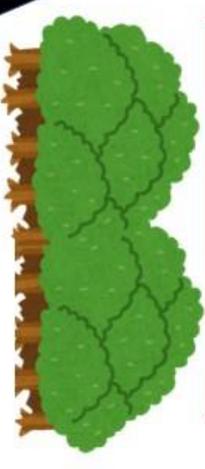
菌類・細菌類
(目に見えない分解者)



土の中の生き物が出した
フンを取り込み、もっと細
かくする



森から川を流れ海へ



栄養塩類が自然のなか
で利用できるようになる

⇒土の中の生き物は、自然のなかの栄養塩類のながれを支えている、たいせつな生き物！